

[解答例]

英語〔前期A方式(1/29)〕

設問	解答例
I	① 2
	② 1
	③ 2
	④ 2
	⑤ 3
	⑥ 3
II	⑦ 4
	⑧ 3
	⑨ 4
	⑩ 4
	⑪ 2
	⑫ 3
	⑬ 1
	⑭ 1
	⑮ 4
	⑯ 2
	⑰ 3
III	⑱ 3
	⑲ 2
	⑳ 8
	㉑ 4
	㉒ 6
	㉓ 5
	㉔ 7
	㉕ 1
IV	㉖ 4
	㉗ 1
	㉘ 4
	㉙ 2
	㉚ 3
	㉛ 4
	㉜ 3
	㉝ 2
	㉞ 3
	㉟ 4
V	㊱ 3
	㊲ 6
	㊳ 6
	㊴ 5
	㊵ 8
	㊶ 1
	㊷ 6
	㊸ 8
	㊹ 1
	㊺ 7

英語〔前期A方式(1/30)〕

設問	解答例
I	① 2
	② 3
	③ 1
	④ 2
	⑤ 2
	⑥ 1
II	⑦ 2
	⑧ 4
	⑨ 3
	⑩ 2
	⑪ 1
	⑫ 2
	⑬ 1
	⑭ 3
	⑮ 4
	⑯ 3
	⑰ 3
III	⑱ 3
	⑲ 6
	⑳ 5
	㉑ 7
	㉒ 2
	㉓ 8
	㉔ 4
	㉕ 1
IV	㉖ 1
	㉗ 4
	㉘ 2
	㉙ 1
	㉚ 4
	㉛ 2
	㉜ 3
	㉝ 2
	㉞ 1
	㉟ 3
V	㊱ 5
	㊲ 6
	㊳ 4
	㊴ 1
	㊵ 5
	㊶ 4
	㊷ 5
	㊸ 2
	㊹ 4
	㊺ 3

英語〔前期B方式(1/31)〕

設問	解答例
I	① 3
	② 3
	③ 1
	④ 2
	⑤ 2
	⑥ 1
II	⑦ 6
	⑧ 5
	⑨ 4
	⑩ 3
	⑪ 1
	⑫ 2
	⑬ 3
	⑭ 4
	⑮ 2
	⑯ 6
	⑰ 5
	⑱ 1
III	⑲ 8
	⑳ 2
	㉑ 8
	㉒ 7
	㉓ 6
	㉔ 7
	㉕ 3
	㉖ 2
	㉗ 3
	㉘ 3
IV	㉙ 3
	㉚ 4
	㉛ 4
	㉜ 2
	㉝ 2
	㉞ 4
	㉟ 1
	㊱ 3
	㊲ 4
	㊳ 4
	㊴ 4

英語〔後期(3/8)〕

設問	解答例
I	① 2
	② 2
	③ 1
	④ 2
	⑤ 3
	⑥ 2
II	⑦ 5
	⑧ 1
	⑨ 3
	⑩ 4
	⑪ 2
	⑫ 6
	⑬ 5
	⑭ 2
	⑮ 6
	⑯ 4
	⑰ 3
	⑱ 1
III	⑲ 7
	⑳ 8
	㉑ 1
	㉒ 4
	㉓ 5
	㉔ 3
	㉕ 8
	㉖ 7
	㉗ 1
	㉘ 8
㉙ 4	
㉚ 7	
IV	㉛ 1
	㉜ 2
	㉝ 4
	㉞ 3
	㉟ 4
	㊱ 3
	㊲ 2
	㊳ 4
	㊴ 4
	㊵ 2
	㊶ 1

[解説]

英語〔前期A方式 1/29〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「サンフランシスコの歴史」。

ほぼ本文の流れに沿って出題されている。キーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、各設問で与えられている英語に続く最も適切な答えを3つの選択肢から選ぶ。(1)は第3段落第3文、(2)は第4段落第1文、(3)は第5段落第4文、(4)は第6～8段落、(5)は第6～7段落、(6)は第9段落第1～3文を照合する。

II

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「世界各国での名前 システム」。

(1) 内容把握の問題。第1段落の要点を把握する。
 (2)・(4)・(10) 本文中の語句の説明や、記述の内容としてふさわしい、またはふさわしくない選択肢を選ぶ問題。
 (3)・(5)・(6)・(7)・(8) 空所を補う問題や、下線部について同義になる選択肢を選ぶ問題。空所や下線部の前後の文脈も正確に理解しているかが問われている。

(9) 内容一致問題。それぞれの選択肢で与えられている英文をもとに、キーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、適切な選択肢を選ぶ。第4～5段落を照合する。

(11) 問題文のタイトルをつける問題。タイトルは、その文章全体のテーマを示すものを選ぶ必要がある。正解は③。問題文で述べられている内容であっても、全体のテーマを示していないものはタイトルとしてふさわしくない。

III

会話文の空所補充問題。息子が母親と姉(妹)に自分のスポーツバッグがどこにあるのか尋ねている場面。会話全体の文脈を押さえたうえで、空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

IV

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) 「質問がある(), いつでも知らせてください」という文。空所に Should を入れると、(if + S + should ~) 「万が一～したら」という仮定法の文の if が省略されて倒置が起きた形になる。
- (2) when 節の時制は過去で、雪がなくなったのはそれ以前のことなので、過去完了で表す。
- (3) consist of ~で「～からなる」の意。主語 The book は3人称・単数なので consists を使う。
- (4) 仮定法過去完了の文。but for ~は仮定法で「～がなければ、～がなかったら」の意。
- (5) sign a contract で「契約にサインする」の意。
- (6) 空所のあとは the と限定詞があるので Most of を入れる。
- (7) What ~ you の名詞節が主語。refer to A as B 「AをBと呼ぶ」が受動態で用いられた文。
- (8) might as well do で「～するほうがいい」の意。
- (9) yesterday は過去の一点を表すので過去の文になる。discuss は他動詞で「～について議論する」の意。
- (10) 主語は単数。be involved in ~で「～に携わる」の意。

V

正しい語順は次の通り。

- (1) This twelve page (chapter will help few other than the most) dedicated university students.
- (2) Certain (energy sources have been formed from plant and) animal remains.
- (3) Native Americans living in the Southwest US (relied on various strategies to make sure of) the success of their agriculture.
- (4) The city officials seem (very hopeful that an agreement will be made) with the construction company.
- (5) In our room, there is a sign saying that (valuables can be deposited in the hotel safe).

英語〔前期A方式 1/30〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「黒人女性飛行士の誕生」。

ほぼ本文の流れに沿って出題されている。(1)・(2)・(3)・(4)・(6)はキーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、各設問で与えられている英語に続く最も適切な答えを3つの選択肢から選ぶ問題。(1)は第1段落第2文、(2)は第3段落第2文、(3)は第4段落第2～4文、(4)は第5段落第1～2文、(6)は第7段落第5文を照合する。

(5)は下線部の示す内容を問う問題。文脈から意図を推測できるかが問われている。

II

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「陸地と海での国家の領域」。

(1)・(2)・(5)・(6) 本文中の語句の説明や、記述の内容としてふさわしい、またはふさわしくない選択肢を選ぶ問題。

(3)・(4)・(7)・(8) 空所を補う問題や、下線部について同義になる選択肢を選ぶ問題。空所や下線部の前後の文脈も正確に理解しているかが問われている。

(9)・(10) 内容一致問題。それぞれの設問や選択肢で与えられている英文をもとに、キーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、適切な選択肢を選ぶ。(9)は第6段落第7～8文、(10)は第2段落第6～7文を照合する。

(11) 問題文のタイトルをつける問題。タイトルは、その文章全体のテーマを示すものを選ぶ必要がある。正解は③。問題文で述べられている内容であっても、全体のテーマを示していないものはタイトルとしてふさわしくない。

III

会話文の空所補充問題。3人が次にどの店に行くかを相談している場面。会話全体の文脈を押さえたうえで、空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

IV

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) drop は自動詞で「下がる」の意。
- (2) never fail to do で「必ず～する」の意。
- (3) order は要求を表す動詞。要求を表す動詞に続く that 節では動詞の原形を使う。
- (4) in need of ~で「～を必要として」の意。
- (5) if 節の述語動詞が (had + 過去分詞) の形なので、仮定法過去完了の文とわかる。主節の述語動詞は (助動詞の過去形 + have + 過去分詞) の形にする。
- (6) out of order で「故障して」の意。
- (7) be absorbed in ~で「～に夢中になる」の意。
- (8) in order to の否定形は not を to の前に置く。
- (9) worth は形容詞。worth doing で「～するに値する」の意。
- (10) in the least で「少しも」の意。否定表現を強調する。

V

正しい語順は次の通り。

- (1) Mike's (house had its roof blown off in yesterday's) typhoon.
- (2) It would have (been better for Mary to admit her weak) points.
- (3) Would you (mind helping me translate this letter into English)?
- (4) It is (natural that she should have doubts about what) you say.
- (5) She tried to do (as the science teacher told her to do).

英語〔前期B方式 1/31〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「動物が持つ道徳心」。

ほぼ本文の流れに沿って出題されている。(1)・(4)・(5)はキーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、各設問で与えられている英語に続く最も適当な答えを3つの選択肢から選ぶ問題。(1)は第1段落第2文、(4)は第2段落第1文、(5)は第3段落第2文を照合する。

(2)は本文中の語句の説明としてふさわしい選択肢を選ぶ問題。

(3)・(6)は下線部の語の意味を問う問題。語彙力や文脈から意味を推測できるかが問われている。

II

会話文の空所補充問題。PART 1とPART 2はひと続きの内容である。FranとTonyが睡眠習慣について話している場面。2人の関係と会話全体の文脈を押さえたうえで、空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

III

正しい語順は次の通り。

- (1) Hand in the (assignment to your teacher no later than March) 31.
- (2) We (may as well sing songs to cheer ourselves) up.
- (3) The dog never (crosses a street without looking up at his) owner.
- (4) He tried to (share the information with whoever happened to be) present.
- (5) The increase (in population gave rise to a critical shortage)

of houses.

- (6) By the (end of May I will have written all) the reports.

IV

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) 空所のあとにはmetの目的語が欠けているので、関係代名詞を選ぶ。先行詞は人なのでwhoを使う。
- (2) It was ~ that ...の強調構文。時を表す副詞が強調されている。
- (3) 空所のあとに節が続くので、接続詞が入る。untilは接続詞で「～するまで」の意。
- (4) 空所のあとにはenterの目的語が欠けているので、関係代名詞を選ぶ。
- (5) ~ in return for doingで「…の返礼に～する」の意。
- (6) A rather than Bで「BよりむしろA」の意。
- (7) 「激しい()のあとで、～」という文。空所にはcompetition「競争」を入れると文意が通る。
- (8) 空所の前は文の要素が揃っているため、複合関係副詞のwhereverを使う。全体の内容が過去のことなので、過去形のものを選ぶ。
- (9) afterは前置詞なので、あとに動詞を置く場合は動名詞にする。too muchで「非常に」の意。overは形容詞・副詞を修飾して「あまりにも」という意味なので不可。
- (10) ask ~ to doで「～に…するように頼む」の意。
- (11) 空所のあとは文の要素が揃っているため、関係副詞のhowを使ったThis is how ~「これが～するやり方だ」が入る。

英語〔後期 3/8〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「イギリス英語の方言」。

前期B方式と同様の構成、時間設定である。前期日程と同様、ほぼ本文の流れに沿って出題されている。

(1) 下線部の語の表す内容を問う問題。下線部の前後の文脈を理解しているかが問われている。

(2)・(3)・(6) 本文中の記述の内容としてふさわしい、またはふさわしくない選択肢を選ぶ問題。(2)は第1段落第4文のwhile以下を照合する。(3)は第3段落第3文を照合する。(6)の①は第5段落第3文、③は第5段落第7文の内容と合う。②は第5段落第5文の内容と合わないため、これが正解。

(4)・(5) キーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、各設問で与えられている英語に続く最も適当な答えを3つの選択肢から選ぶ問題。(4)は第4段落第2文、(5)は第5段落第6文を照合する。

II

会話文の空所補充問題。PART 1とPART 2はひと続きの内容である。スマートウォッチの購入を考えているHelenと、Chris、Patが話している場面で、主にスマートウォッチについてやオンラインショッピングと実店舗での買い物の比較についての会話。空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

III

正しい語順は次の通り。

- (1) All employees (are asked to refrain from using the locker) room in the west building next week.
- (2) Taylor's beautiful voice certainly (has played a role in her success as) a singer.
- (3) Anne (realized how much the world had changed around) her in the course of the past few decades.
- (4) Rachel (believes it was her destiny to run into) John in

London that day.

- (5) I have recently (made it a rule to wash my hands) immediately when I get home.

- (6) It is (certain that Michelle will play the lead in) the new musical.

IV

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) when節の時制が過去で、月次報告書はその前に書き終えていたという文脈。よって、主節の時制は過去完了。
- (2) All the employees を受ける代名詞の所有格はtheir。
- (3) 関係代名詞の非制限用法。選択肢のうち、非制限用法で用いることができるのはwhichのみ。非制限用法のwhichは前の節の一部または全体を先行詞にすることができる。
- (4) is expectedが文の動詞で、空所からvacationまでは修飾語句だとわかる。現在分詞でpeopleを修飾する。
- (5) 〈I wish + 仮定法〉で「～であつたらいいのに」の意。助動詞の過去形が適切。
- (6) 空所のあとは名詞の単数形なので、序数詞が適切。序数詞の前には通常theを置く。
- (7) 空所のあとに名詞が続くので、所有格の関係代名詞whoseが適切。
- (8) advise O to do「Oに～するように勧める」の受動態。adviceは「助言」、adviserは「助言者」の意。advisableは「賢明な」の意だが、人を主語にとらない形容詞。
- (9) 空所のあとはjoinの目的語だと考えられるので、能動態が適切。主語はOne of ~「～の1人」で単数。
- (10) 〈keep + O + 分詞〉で「Oを～している〔されている〕ままにする」の意。his fatherとwaitは能動の関係なので、現在分詞が適切。
- (11) three months agoという過去の一点を表す語句があるので、過去形を使う。